

2010年度

科目名	ワークショップ論		
担当教員	村尾 敏彦、中村 英一朗		
配当	人社1(2312)	コード	44500
開期	前期	講時	木曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	実際に自分の身体と心を使って、楽しくワークショップの手法を学びながら、自分と社会についての新たな向き合い方を探る		
目的と概要	人権をはじめ人生や世の中の様々な問題について必ず『正解』があるわけではないでしょう。また、教え込まれただけの正しい答えは、本当の意味で自分のものになっていないのかもしれない。そのような中でこのワークショップ論では①体験する(参加者は相互に学び合う)、②振り返る(自分の気持ちを言語化し、相手の言葉を傾聴する)、③一般化する(体験を分析し概念化する)、④応用する(それを経験知・経験則まで高め、次への行動を考える)を通して、人間の成長につなげます。		
成績評価法	授業毎に『振り返りシート』に記入してもらおう。学期全体の自分の資料をもとに自己評価のレポートを提出してもらい、教員はそれを基に評価します。		
テキスト	特にテキストは使用しない		
参考書	必要があれば、その都度授業中に指示する		
履修に当たっての注意・助言	教室で椅子に座って講義に耳を傾ける形式の授業ではありません。心身を活動して体験する形式の授業なので、人数が多すぎると授業として成立しません。そのため人数制限をします。授業履修できるのは、60名までです。2クラスに分かれて履修します。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワークショップとは? (7つの側面・話し合うルール作り・聞くトレーニング)</li> <li>2. ワークショップの基本(ブレインストーミング・CARRトレーニング他)</li> <li>3. ダイヤモンドランキング(仕事に求めるもの)</li> <li>4. トラストゲーム</li> <li>5. レスポンスゲーム(ひとからひとへ波のように伝わって…)</li> <li>6. 差別・偏見について考える①(『ちがいのちがいがい』より ~違いを豊かさに~)</li> <li>7. 差別・偏見について考える②(『熱気球』より ~結婚の条件~)</li> <li>8. 差別・偏見について考える③(多数派少数派・青い目茶色い目 [DVD])</li> <li>9. イメージを共有して(大縄跳び)</li> <li>10. Back to Back(絵を描くワーク)</li> <li>11. 粘土のワーク(ふたりで作ったら…)</li> <li>12. 貿易ゲーム①(南北問題を体験を通して考える)</li> <li>13. 貿易ゲーム②(フォトランゲージ)</li> <li>14. オークション(卒業までにつけたい力)</li> <li>15. 授業のまとめ</li> </ol>			